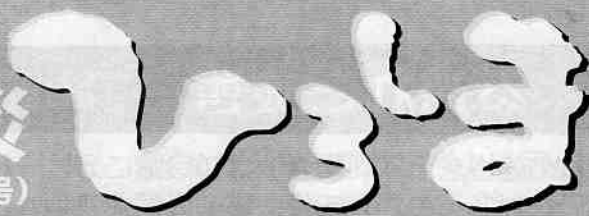


自主防災

(臨時号)



自助

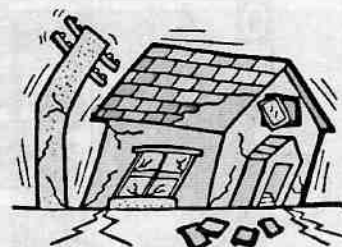
共助

公助

編集・発行／広島市危機管理室
TEL (082) 504-2664

世界で起こる地震の約10%は日本で発生しており、過去20年ほどの間に、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災と数年前に大地震が発生しています。

いつ起こるか分からない地震に備えて、事前に知っておいていただきたいことを紹介します。



広島市で被害が想定される地震について

平成25年度に本市では市域に甚大な影響を及ぼす可能性のある地震について被害想定を実施し、行政区ごとの人的・物的被害の推計など本市の地震被害想定を取りまとめました。

【リーフレット：

広島市の地震被害想定】



想定される震度や液状化の危険性について確認しておきましょう



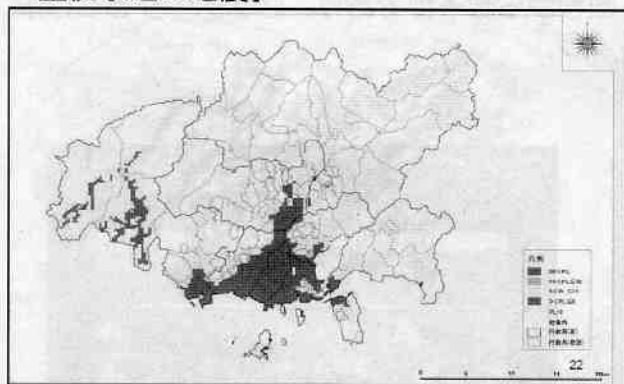
【想定地震：6 ケース】

想定地震	地震タイプ	マグニチュード	今後30年以内の発生確率
① 南海トラフ巨大地震	プレート間	9.0	—
② 安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震	プレート内	7.4	40%
③ 五日市断層による地震	地殻内	7.0	不明
④ 己斐～広島西縁断層帯による地震	地殻内	6.5	不明
⑤ 岩国断層帯による地震	地殻内	7.6	0.03%～2%
⑥ 安芸灘断層群（広島湾～岩国沖断層帯）による地震	地殻内	7.4	不明

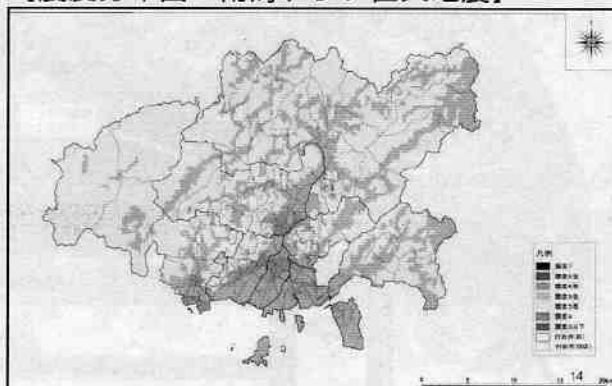
【想定地震位置図】



【液状化危険度分布図：安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震】



【震度分布図：南海トラフ巨大地震】



詳しくは、広島市ホームページをご覧ください。

平成25年度広島市地震被害想定報告書

検索



震度による揺れと被害について

地震の際にある地点の地面の揺れの強さを示す「震度」は10段階に分けられます。想定される震度によりどのような被害が発生する恐れがあるのかを知り、事前に備えましょう。

●震度による感じ方の違い



【震度0】
人は揺れを感じない。



【震度1】
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。



【震度2】
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。



【震度3】
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。



【震度4】
○ほとんどの人が、驚く。
○電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
○座りの悪い置物が、倒れることがある。



【震度5弱】
○大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
○棚にある食器類や本が落ちることがある。
○固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



【震度5強】
○物につかまないと歩くことが難しい。
○棚にある食器類や本が落ちる物が多くなる。
○固定していない家具が倒れることがある。
○補強されていないブロック塀が倒れることがある。



【震度6弱】
○立っていることが困難になる。
○固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
○壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
○耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



【震度6強】
○はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
○固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
○耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
○大きな地割れが生じたり、大規模なすべりや山体の崩壊が発生することがある。



【震度7】
○耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
○耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

〈気象庁「震度と揺れ等の状況（概要）」を加工して作成〉

緊急地震速報について

最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。速報発表から強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒であり、必ず的中するとは限りませんが、自分の身を守るため、最大限に活用しましょう。



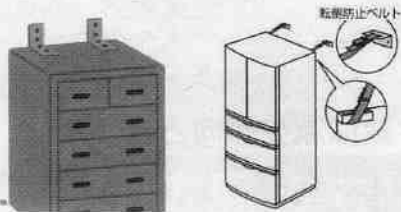
〈画像元：地震調査研究推進本部〉

地震に備える

家の中は、地震が発生したとき、けがや避難の妨げの原因になるものがたくさんあります。家具を固定したり、危険箇所を改善しておきましょう。また、避難する際に必要となる非常持出し品の準備や、安否確認方法などについて家族で話し合っておきましょう。

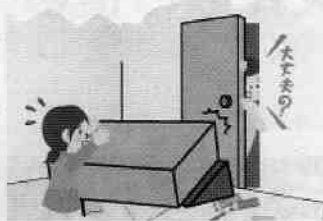
家具・家電の固定

L字金具等でしっかり固定を



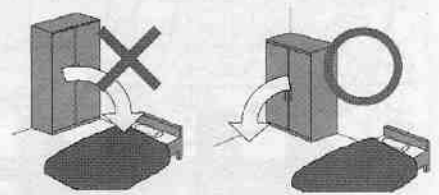
避難経路の確保

出入り口の周りにはなるべく広く



家具の配置換え

家具の転倒方向と重ならないように



家庭内備蓄

最低でも3日分(できれば1週間分)の飲料水や食料品を



非常持出し品の準備

両手が使えるリュックに避難生活に必要なものを



安否確認方法の共有

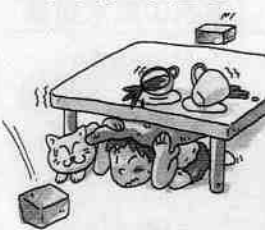
必ず複数の方法を検討して、試しておきましょう。



地震が発生したらどう行動すべきか？

大きな地震が発生したとき、あわてずに冷静に対応することが命を守ることにつながります。また家族をはじめ近所に住んでいる人たちに進んで声をかけ、お互い協力し合いましょう。

まず身の安全を



すばやく火の始末



出口を確保



すばやく消火



ガラスに注意



あわてて外に出ない



落下物等に注意



協力し合う



声を掛け合う



正しい情報を入手



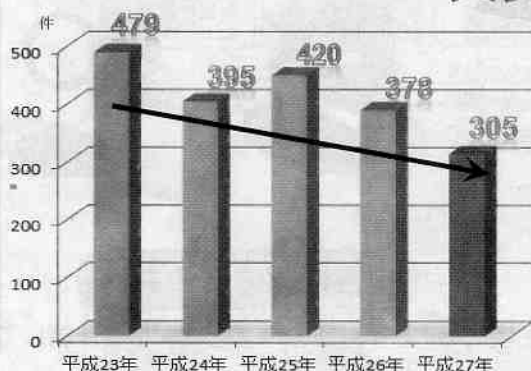
春

の火災予防運動

【平成28年3月1日～7日】

まだまだ寒い時期が続き、空気も乾燥して、火災が発生しやすい時期です。
暖房器具の使用や火気の使用には十分に注意してください。

火災件数の推移

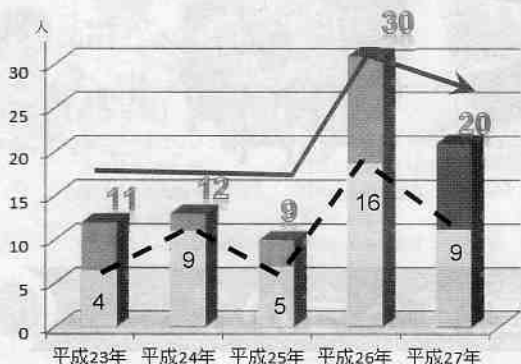


広島市消防団マスコットキャラクター「ひろビー」

火災件数は減少傾向となっています。

しかし・・・!

火災による死者数の推移



～グラフの下段は、高齢者（65歳以上）の死者数

昨年の死者数は一昨年より減少していますが、一昨年と昨年は例年に比べると多くなっています。
また、死者のうち、約半数が高齢者（65歳以上）です。

※ 数値は、広島市消防局管内の過去5年間のものです。
平成27年の数値は、速報値のため、今後変動する可能性があります。

各家庭での備え

point /

1

早く知る！

火災を早く知るために住宅用火災警報器を設置し、維持管理しましょう。



point /

2

早く消す！

火災を小さいうちに消すために、消火器を備えましょう。



point /

3

火を広げない！

寝具、衣類及びカーテンは防災品を使用しましょう。

